



奈井江版生涯活躍のまち

誰もが躍動し、寄り添い集う全世代共奏のまちづくりプロジェクト

2022年度

事業名

誰もが躍動し、寄り添い集う全世代共奏のまちづくりプロジェクト

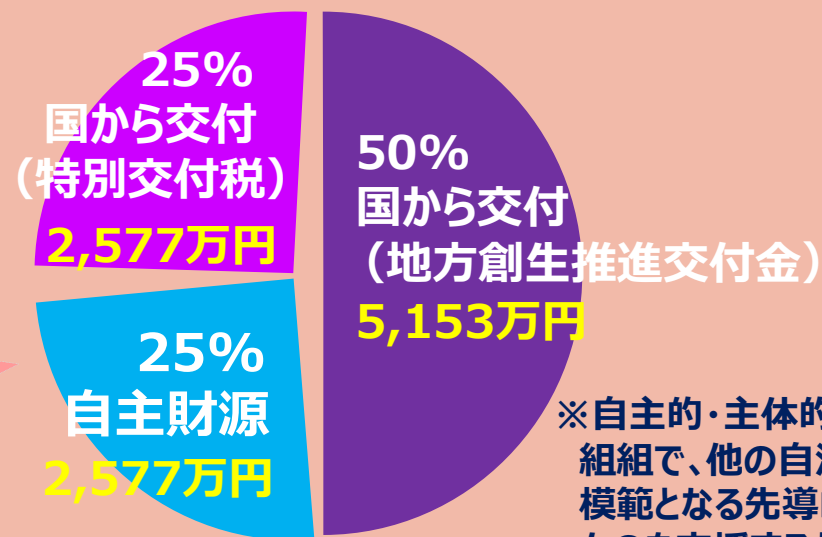
※国（内閣官房）地方創生推進交付金事業

予算額

令和4年度予算額
1億 307万円



今まで町が単独で行っていた事業を見直したり元々計画していた事業を今回のまちづくり事業に位置づけたりふるさと納税などの財源を確保したりしながら町民の大きな負担にならないよう配慮していきます。



※自主的・主体的な取組で、他の自治体の模範となる先導的なものを支援するために国が交付するものです。

事業期間

令和4年度～令和8年度までの5年間（総事業費5億8,912万円）

生涯活躍のまちについて

「生涯活躍のまち」とは

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げられたまちづくりの理念で、住民の全世代の誰もが、居場所と役割を持って活躍できる、地域を目指すものです。

全国で推進している、または推進意向がある自治体は、372自治体あります。

生涯活躍のまちづくりの進め方

【町民の皆さんと】

意見交換をしたり、まちづくりに参加していただいたり、一緒に進めていきます。

【町外の人にも】

参画を促したり、活躍の機会を提供したり、民間のノウハウ等も活用しながら、関わりの輪を広げていきます。



“奈井江版生涯活躍のまち”の特徴

①誰もが活躍できる就労の創出と定住促進、②誰もが健康で、安心して暮らせるまちづくりの確立、③地域資源を活かしたまちづくりを3つの柱に掲げ、少子高齢化や人口減少などの課題解決に取り組んでいきます。

官民連携でまちづくりを進める 「町内エンジン」=まちづくり会社

様々な事業の実施・運営主体として、新たに設立した「一般社団法人 ないえ共奏ネットワーク」を地域再生推進法人に指定し、まちづくりの担い手として、公的な位置付けを付与し、町と連携しながら進めていきます。



活躍・しごと

全国で
5番目

「しごとコンビニ」事業



事業所・商店・
農家・役場・
個人など

- しごとのマッチング
- スキルアップのための講座開催など

しごとコンビニ
登録者
(町民)

【目的】

- ・年齢や時間などがネックで、働きたいけど働けない高齢者や、子育てママなどの「空いた時間を活用して、ちょっと働きたい」という思いと、事業所や町民の「ちょっと手伝ってほしい」というニーズをつなげる事業。
- ・講座や勉強会を通して、仕事のスキルが上がったり、多世代交流が生まれるきっかけも提供する。

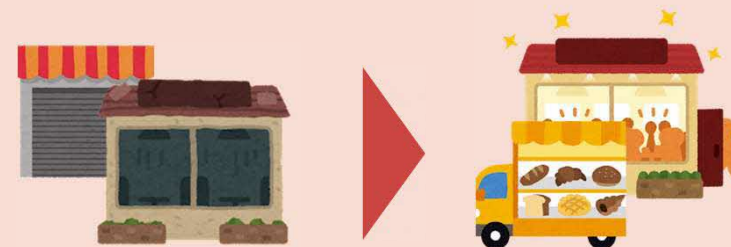
【仕事の種類:他地域の事例】

データ入力、経理事務、封入・封かん、梱包、清掃
シール貼り、宛名書き、チラシ作成、ポスティング
写真撮影、動画制作、SNS更新、商品モニター
商品企画、組立作業、農作業、裁縫、テープ起こし
飲食店の料理の仕込み、商品仕分け、調査補助等

【特徴】

- ・自分の都合のいい日や時間、自分がしたい仕事ができる。
- ・人に合わせて仕事を分解し、チームで仕事をする。

しごとチャレンジプロジェクト



空き店舗

- ※事業継続が難しいものを含む

活用・起業

- ※改修、新たなサービスの検討・展開も

【目的】

- ・町の食や味の文化・技術を守るとともに、コミュニティの場として機能してきた商店・飲食店の事業承継を図る。
- ・起業のサポートや、起業者等の流入を図ることで、新たな商いや産業の創出につなげていく。
- ・これらにより、地域経済の活性化を図っていく。

【令和4年度は】

町内事業者ヒアリング、空き店舗調査、事業検討等

住まい

住まいの幸せ 循環システム構築



空き家

※将来、空き家になる
可能性の高いものを含む



リフォーム後

※賃貸物件として
希望者に貸し出す

【目的】

- ・空き家を活用した新たな住宅施策を構築することで、町民の転出抑制、町外からの転入を促進する。
- ・地域コミュニティの活性化、安全安心な暮らしの確保、生活環境や景観の保全につなげていく。
- ・新しい暮らし方を提示することで、町民の幸福感を向上させていく。

【令和4年度は】

空き家の現状調査（アンケート、ヒアリング）先進事例調査、事業スキームの検討、連携協力体制の構築など

※利用者ニーズを踏まえて補修・改装・改築する。まちづくり会社が事業主体となり、民間事業者と連携・協力して持続可能なモデルを構築する。

多世代共生型 交通システム導入



【目的】

- ・子どもから高齢者まで、誰もが便利で使いやすい、新たな移動のしくみを構築する。

【令和4年度は】

顕在・潜在ニーズ調査課題検討など

交流・居場所

全世代コミュニティ の構築



【目的】

- ・地域の人たちが、主体的に創意工夫しながら活動ができる、持続可能な新たなコミュニティを、つくっていく。

【令和4年度は】

地域の現状把握、あり方検討、先進地調査など

※町民の皆さんと、一緒に考えていきます。

じゅう 「まち中音楽」 活躍システム構築



【目的】

- ・全国屈指の音楽ホール（コンチェルトホール）の可能性を活かし、いつでもどこでも音楽に触れることができ、交流や活躍の機会を提供できるよう、音楽×まちづくり×チャレンジの掛け合わせにより、音楽を通じて町内外の人がつながり、町の未来に向かう、誰もが居場所と役割がある、楽しいコミュニティの構築を目指す。

【基本的な考え方】

音楽のジャンルにはこだわらない / 音楽を通じた取組・地域課題の解決も含む / 外部の大学や企業と連携・活用する持続可能なしくみを目指す

健康・都市部との連携

多世代健康・安心・ 活躍フィールド提供事業



【目的】

- ・子どもから高齢者まで健康づくりができる環境を整え、意識を醸成する。
- ・将来にわたって、健康で過ごし続けられる暮らしの実現につなげる。

【令和4年度は】

活躍プログラムの検討、福祉計画策定など

- ※体育館トレーニングルーム内のジム機器を更新する。パーソナルトレーニングや個人に合わせた健康づくりプログラムを実施する。

プロモーションの展開



【目的】

- ・まちの魅力を町民と共有し、クリエイティブでありつづける町のブランド化を図る。

発展型関係人口づくり



【目的】

- ・町産米を活かしたふるさと納税寄附を拡大し、認知度の向上を図る。
- ・継続的にまちに関わるファンや、まちに関わる人・まちで活躍する人を増やすことで、まちづくりを発展的・持続的なものにしていく。
- ・まちづくりの財源確保や、まちづくり会社の財政基盤の強化につなげる。

【令和4年度は】

ふるさと納税調査、戦略策定など

都市部民間企業人材との交流



【目的】

- ・関係人口の創出・拡大・深化を図る。
- ※オンライン・SNS、町を訪問して交流

【令和4年度は】

まちのロゴ・コピーづくり、オンラインイベントなど